

事務事業評価表

○基礎情報

課名		男女共同参画課	作成責任者
施策目標	15	互いが尊重され、あらゆる分野の活動に参画できる社会をつくる	森永 尚子

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
1 人	5 人	1 人	0 人	1 人	8.78 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
1,254 時間	20.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
固定的性別役割分担意識	60.5%	62.0%	64.0%	63.8%	67.3%
男女の地位における平等感	26.0%	35.0%	21.3%	23.6%	25.7%
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	だれもが社会参画できる環境づくり
2	国際化に対応した行政サービスの提供と地域交流の支援
3	都市交流の促進
4	平和の尊さの啓発
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果（効果）（Plan / Do）											Check		Action	
No.	事務事業 （第4次実施計画）	施策	従事 者数	会計 区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか（生ま れた成果・効果） （対象）（手段・方法）	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1	平和啓発事業	4	0.27	一般	1,427,000 ----- 1,422,000	1,356,000 ----- 1,148,038	次世代を担う子どもたちへの啓発として、平成29年8月に寄贈された佐々木禎子さんの折り鶴を通して、ホノルル市・郡の高校生ボランティアとの交流や、「平和のつどい」の開催をはじめ、各種講演会、展示会など、平和事業の委託先である「平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会」と連携しながら、平和啓発事業を実施した。折り鶴というツールを使うことにより、幅広い世代に向けて平和の尊さについて考える機会を創出した。	平和に関する展示会等イベントの回数	4回	5回	S	変動 なし		
2	男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業	1	0.82	一般	1,888,000 ----- 1,775,890	1,885,000 ----- 1,723,568	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値を達成することはできなかったが、様々な講座等を開催し意識啓発を行った。女性よりも男女の地位が平等であると考えられる割合が高く、認識に差がある男性に対し、参加しやすいテーマの設定や親子参加型の講座にするなどの工夫を施し、気づきにつながるきっかけを創出することで、男性の男女共同参画意識の向上を促すことができた。	講座等事業参加者数	640人	521人	A	変動 なし		

3	ゆかりのまち交流事業	3	0.31	一般	1,040,000 ----- 1,038,080	501,000 ----- 395,860	ゆかりのまち岡崎市との友好親善を深めるため、青少年交流事業(小学生ミニバスケットボール)を行った。(市民バスツアーは、統一地方選挙の対応のため、令和元年度は実施しなかった。)	交流事業実施回数	2回	1回	C	減少		
4	相談事業	1	1.99	一般	6,848,000 ----- 6,614,352	6,924,000 ----- 6,649,590	女性のため相談室の存在が浸透しつつあり、相談件数は目標値を上回ってきている。しかしながら、相談件数が多いことは、様々な課題を抱える女性が多いことでもあることから、引き続き、女性のための相談先として周知を図るとともに、女性が安心して暮らすことができる社会の実現のため、相談者一人一人の安心と安全につながるよう課題解決に向けて専門相談員による相談及び女性弁護士による法律相談を実施した。	相談件数	620件	669件	S	変動なし		
5	国際化に対応した地域交流の支援	2	0.15	一般	107,000 ----- 106,998	107,000 ----- 106,460	市民ボランティア団体と連携しながら、市内在住の外国人や海外の人々との交流活動、国際理解講座を行ったほか、新たに国際結婚子育て交流サークル、外国籍児童の学習支援などを実施し、地域での交流支援に取り組んだ。	共催事業数	6事業	8事業	S	変動なし		
6	国際化に対応した行政サービスの提供	2	0.38	一般	339,000 ----- 249,000	39,000 ----- 9,000	外国籍市民に日本語を教えるボランティア講師養成のため、市民向けに「やさしい日本語を使った外国人サポート講座」を企画し、募集まで行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できず、目標値が達成できなかった。しかしながら、外国語版便利帳のやさしいにほんご版、英語版、中国語版、ハングル語版、概要版(防災やさしいにほんご)を公共施設へ設置し、配布した。医療通訳派遣システムに参加し、医療通訳を派遣できる体制を整えている。	事業参加者数	40人	0人	A	変動なし		
7	ピーストレイン平和大使広島派遣事業	4	0.25	一般	1,190,000 ----- 1,077,228	1,416,000 ----- 1,406,182	「平和について」ポスター・作文コンテストの受賞者を広島で行われる平和記念式典に派遣し、「ひろしま子ども平和の集い」において、学習の成果を発表した。次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを肌で感じ取ってもらう機会を創出した。	平和大使派遣者数	16人	16人	S	変動なし		
8	「平和について」ポスター・作文コンテスト事業	4	0.23	一般	18,000 ----- 16,988	25,000 ----- 24,909	次代を担う子どもたちに、広く平和の大切さについて考えてもらうため、「平和について」ポスター・作文コンテストを実施した。応募総数は減ったものの、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを改めて考えてもらう機会を創出した。	応募作品数	2,190点	1,897点	S	変動なし		

9	女性問題の研究調査	1	0.49	一般	192,000 ----- 178,925	180,000 ----- 80,351	男女共同参画に関する理解を促進するため、男女共同参画情報紙「いこりあ通信」を2回発行した。受講者に好評だった講座のレポートや講師へのインタビューを掲載し、講座に参加されなかった方に対しても、家庭における男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて考える機会を創出した。また、アサーティブを活用した職場における円滑なコミュニケーション術を紹介し、女性のエンパワーメントを促進した。	情報誌発行回数	2回	2回	S	変動なし		
10	人権同和対策に関すること	1	0.25	一般	881,000 ----- 789,652	799,000 ----- 613,512	性的マイノリティの方への取組みについて、市職員への研修や市民への講演会を開催し、あらゆる人が心豊かに自分らしく生活でき、不当な差別を受けることがない社会の実現に向けた啓発機会を創出した。また、国や県、他市の動向の調査や、人権に関する研修会への職員の参加などにより、取り組むべき課題について調査・研究を進めた。	市主催事業実施回数	1回	1回	S	変動なし		
11	平和啓発事業（啓発看板移設）	4	0.02	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修工事に伴い、「平和都市宣言」、「核兵器廃絶平和都市宣言」、「交通安全都市宣言」の看板について、庁内で調整を進めたが、改修工事業自体の期間の延長により、看板の移設等についての決定時期も当初の予定（令和元年度撤去 令和2年度移設）より遅れている。	設置時期	-	令和元年度は計画なし	実績なし	-		●
12	都市交流事業	3	0.63	一般	1,045,000 ----- 0	0 ----- 0	ハワイ州ホノルル市・郡との市民交流事業として、誰もがハワイの文化に触れ、参加しやすいイベントとして茅ヶ崎ロコ・スタイル・フェスティバルを共催事業として開催し、様々なハワイ文化に触れる機会を創出した。東京2020大会に向けて、ホストタウン登録をした北マケドニア共和国との交流については、ホストタウン登録イベントの開催や、ゆかりの人物であるマザー・テレサのパネル展など紹介事業を進めた。	市民交流事業の開催月	11月	10月	S	変動なし		
13	地域における男女共同参画の推進	1	0.27	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	女性の参画が少ない防災の分野において、女性の参画を促進し、地域の防災を担う女性リーダーの育成を目的として実施を予定していた講座が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施することができず目標値を達成できなかった。しかしながら、地域づくりの方針・意思決定過程への女性の参画について、講座を開催して意識啓発を行い、男女共同参画の視点に立った地域運営への市民の関心を喚起することができた。	啓発講座等実施数	3回	2回	A	変動なし		
合計					R元予算(円) ----- R元決算(円)	13,232,000 ----- 12,157,470								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>男女共同参画課の令和元年度における事務事業数は19事業であり、うち政策的事業は13事業である。</p> <p>政策的事業の評価結果は、「S」8事業、「A」3事業、「C」1事業、「実績なし」は1事業(令和元年度は計画もなく、実績もない事業)であり、「国際化に対応した行政サービスの提供」など新型コロナウイルスの影響により一部の講座が中止となり、目標値が達成できなかった事業もあるが、概ね順調に事業を実施することが出来た。</p> <p>施策目標の達成状況を分析すると、「固定的性別役割分担意識に反対する人の割合」は、年々増加しており、男女共同参画に関する意識が広く浸透しつつあるが、更なる固定的性別役割分担意識の解消を目指し、様々な機会を捉えて意識啓発を実施した。「男女の地位における平等感」については、平成29年度を底に上昇しているものの、目標値との乖離が依然として大きい状況であり、男女間で認識の差が見られることから、男性を対象とした意識啓発を主眼に置いて実施した。</p> <p>その一方で、社会情勢の変化を捉え、取り組んだ事業として、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ホストタウン登録した北マケドニア共和国との交流等の事業については、ホストタウン登録イベントやマケドニア・フェアなどを行い、市民に北マケドニア共和国の紹介する事業を展開した。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,254時間、1人あたりに換算すると月平均20.9時間であり、30年度より130時間増加している。これは、北マケドニア共和国との交流等の事業が主な原因であるが、文化生涯学習部内で役割分担を行いながら事業を行うことで、時間外勤務時間の増加は最小限度に留めることができたものと考えている。しかし、男女共同参画社会の実現には、長時間労働を是正し、ワークライフバランスを実現することが必要不可欠であり、本課は庁内において率先して取り組む必要があるため、東京2020大会の延期や次期ちがさき男女共同参画推進プランの策定などの今後に発生する業務を考慮したうえで、課全体の業務を精査し、時間外勤務の縮減に取り組む。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅勤務が励行されるなど家族で過ごすことができる時間が増え、ワーク・ライフ・バランスが改善されるという一方で、ドメスティックバイオレンス(DV)被害の懸念など様々な変化が想定される。</p> <p>次期ちがさき男女共同参画推進プランの策定は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当面の間先送りするが、その市民生活への影響を男女共同参画の視点から検証していく。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
11	平和啓発事業(啓発看板移設)	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修工事の業務が延長されており、令和2年度中の撤去等には至らないため。